

「マスク」美人になるメイク 外したときも美しく！

株式会社カネボウ化粧品

冬から春にかけては、風邪やインフルエンザが流行したり、花粉が飛び始めたりすることもあり、マスクをする機会も増えますね。「マスクをしているから」と、なんとなくメイクの手抜きをしてしまうことはありませんか？でも、マスクをして家を出ても、食事をしたり、お茶を飲んだり、鼻をかんだり、マスクを外す場面は意外にあります。

そこで今回は、マスクをしているときも、マスクを外したときも美しくみえるメイクのポイントを、カネボウ化粧品美容研究所のメイクアップアーティスト 原島 麻由美（はらしま まゆみ）からご紹介します。



化粧なし+マスク



マスクメイク+マスク



マスクメイク（マスクなし）

【ベースメイク】薄付きのリキッドやBBクリームがおすすめ

マスクをしていると、内側にこもる湿気やこすれによって、ファンデーションが取れてしまったり、毛穴に落ちてポツポツとした点が見えてしまったりということがあります。そこでおすすめなのは、リキッド（乳化）タイプのファンデーションやBBクリームです。パウダータイプに比べて、よれにくく、粉浮きが軽減できます。しっかりカバーするクリーミーなものよりは、薄付きに仕上がるものを選びましょう。

【頬・チークカラー】薄くフェイスパウダーを重ねると色移りが気にならない

チークカラーは、マスクを外した時に、ほどよく血色感を与えて肌をきれいに見せてくれるので、ぜひ取り入れたいアイテムです。こちらも、おすすめはパウダータイプよりも、練状（クリームやリキッド）のもの。ベースメイクの後すぐに使用して、その上にフェイスパウダーを薄く重ねると、マスクへの色移りが少なく自然な印象になります。さらにチークを強調したいときには、パウダータイプのチークカラーをその上から重ねてください。

【口もと・リップメイク】ティントリップをティッシュオフして血色感ある唇

口もとは、マスクをしていると隠れてしまう上、マスクへの色移りを気にして、何もつけないか、透明のリップクリームのみという方も多いのではないのでしょうか？しかし、マ

マスクを外した時に口もとに色味がないと、少しさみしい印象に見えてしまいます。

そこでおすすめしたいのは、ティント（唇を染める）タイプのリップカラーです。マスクをする前に塗って、少し時間を置き、色がついたらティッシュで押さえます。このようにすると、うっすらとした血色感が唇に残り、マスクには色がつきにくくなります。ティントリップがなければ、スティックタイプの口紅を使って、ティッシュオフする方法でも同じような効果が得られます。

【目もと・アイカラー&アイライン&マスカラ&眉】

目もとは、マスクをしていても唯一見える部分です。きちんとメイクをしているという印象を与えながらも、マスクを外した時に、肌や口もとのバランスが取れるようにナチュラルに仕上げましょう。強い色を使ったり、グラデーションをつくりこんだりしなくても大丈夫。まぶたにツヤやきらめきを感じられると素敵です。その分、アイライナーで目もとをはっきりさせたり、マスカラで目をパッチリさせたりすることをおすすめします。アイラインは、線を引くようにではなく、目のキワのまつ毛とまつ毛の隙間を埋めるようにすると、自然な印象で目もとがきりっと仕上がります。

眉は、マスクをしていても、こすれたり消えたりしない部位なので、いつも通りに整えておきましょう。

ちょっとした工夫で、マスクをしているときも、マスクを外したときも、美しく過ごしましょう。